

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、学級閉鎖など、お子さんが自宅待機になったご家庭におかれまして、様々な面でご協力をいただき、ありがとうございました。

「学びのひろば」も本年度最終回となりました。今回は5月27日（木）に6年生を対象に実施されました「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の本校の結果より一部ご報告いたします。

【本校6年生の「全国学力・学習状況調査」結果の概要】

教科	国語 (%)	算数 (%)
本校	70	76
兵庫県	64	71
全国	64.7	70.2
全国との差	+5.3	+5.8

本校6年生の各教科の平均正答率は全国に比べていずれも5%以上高い結果となりました。いずれの教科においても、授業で取り扱う内容が定着しており、その成果を発揮することができています。一方、国語科の百字程度の記述問題や算数科の資料の読み取りなどには、課題が見られました。学校でも、教科書に書かれている基本的な知識だけでなく、初めて見る資料を読み取ったり、自分の考えを表現したりする場面を多く取り入れながら、主体的・対話的で深い学びが実現するよう授業改善を行っていきます。

質問紙調査の結果より、地域や社会に関わる活動の状況等について、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」いずれの質問項目においても否定的な回答が目立ちました。コロナ禍においても、地域社会の一員であるという自覚を持つことができるよう、学校でも地域の方々との交流を図っていきたいと考えます。

また、本校の児童は、全国の割合に比べて1日に読書をする時間が長く、家にある本の冊数もとても多い傾向があることがわかりました。新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、勉強について不安を感じた児童の割合は低く、課題で分からないことがあった時は「家族」に聞いた児童が多かったこともわかりました。日頃から、家庭学習にご協力くださり、ご家庭の学習環境を整えておられることがよくわかる結果となっています。



今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、予定されていた参観が中止や延期になり、行事も人数制限を行うなど、保護者の方や地域の方に広く子どもたちの学習活動を見ていただくことができませんでした。保護者の方におかれましては、お子さんが日頃どんな表情でどのように学習しているのかわからず、何かとご心配をおかけしたことと思います。その中でも、生活点検や毎日の音読、連絡帳や宿題の点検などにご協力いただき、子どもたちへ温かくお声かけくださり、ありがとうございました。武庫庄小学校の子どもたちは、よく考え、よく話し、助け合いながら意欲的に学習しています。学力向上は、学校と家庭の両輪で進められることと思います。今後も子どもたちの学力向上と生活習慣の改善にご協力お願いいたします。

